

## 資 源 開 発

教 授 難 波 恒 雄  
助 教 授 服 部 征 雄  
助 手 御 影 雅 幸  
文 部 技 官 布 目 慎 勇

### ◆ 著 書

1) 佐藤潤平, 三浦三郎, 難波恒雄著: 家庭で使える薬になる植物, 第III集, 創元社, 1979.

### ◆ 原 著

1) 小橋恭一, 西村 正, 日下まち子, 難波恒雄: 大黃成分, センノサイドのヒト腸内細菌による代謝, 第12回和漢薬シンポジウム記録 12: 8-14, 1979.

2) De Clercq E., Fukui T., Kakiuchi N., Ikehara M., Hattori M. and Pfeleiderer W.: Influence of various 2- and 2'-substituted polyadenylic acid on murine leukemia virus reverse transcriptase, Cancer Letters 7: 27-37, 1979.

### ◆ 総説・その他

1) 難波恒雄: 富山の薬業と和漢薬研究所, 薬事・日報 (5809): 31, 1979.

2) 難波恒雄: 秘薬解説・葛根と葛花, 漢方医学 3(1): 1-2, 1979.

3) 難波恒雄: 秘薬秘法一健歩丸一, 経営者会報 (1): 57, 1979.

4) 難波恒雄: 生薬解説・茵陈蒿, 漢方医学 3(2): 1-2, 1979.

5) 難波恒雄: 漢方名医伝(2), 東洋医学 (22): 100-104, 1979.

6) 難波恒雄: 生薬解説・生姜と乾姜, 漢方医学 3(3): 1-2, 1979.

7) 難波恒雄: 質疑応答一土糧皮酊について一, 日本医事新報 (2866): 131, 1979.

8) 難波恒雄: 生薬解説・龍骨, 漢方医学 3(4): 1-2, 1979.

9) 難波恒雄: 生薬解説・猪苓, 漢方医学 3(5): 1-2, 1979.

10) 難波恒雄: 秘薬秘法一ガンと梅寄生一, 経営者会報 (5): 75, 1979.

11) 難波恒雄: 生薬解説・茯苓, 漢方医学 3(6): 1-2, 1979.

12) 難波恒雄: 質疑応答一漢方における外用鎮痛処方一, 日本医事新報社 (2876): 143, 1979.

13) 難波恒雄: 生薬解説・虻虫, 漢方医学 3(7): 1-2, 1979.

14) 難波恒雄: 生薬解説・延胡索, 漢方医学 3

(8): 1-2, 1979.

15) 難波恒雄: 1980年代の和漢薬, 和漢薬(315): 1-2, 1979.

16) 難波恒雄: 生薬解説・牛黄, 漢方医学 3(9): 1-2, 1979.

17) 難波恒雄: 質疑応答一鹿茸(パントクリン)の作用機序一, 日本医事新報 (2888): 136-137, 1979.

18) 難波恒雄, 御影雅幸: 質疑応答一生薬資源の前途一, 日本医事新報 (2892): 130, 1979.

19) 難波恒雄: 生薬解説・木香, 漢方医学 3(10): 1-2, 1979.

20) 難波恒雄: 生薬解説・貝母, 漢方医学 3(11): 1-2, 1979.

21) 難波恒雄: 生薬解説・防己, 漢方医学 3(12): 1-2, 1979.

22) 服部征雄: インターフェロン処理細胞中のタンパク合成阻害物質一2', 5' アデニル酸オリゴヌクレオチド一, 蛋白質・核酸・酵素 24: 968-969, 1979.

23) J. D. ワトソン(著者), 服部征雄, 蛭田庸代(共訳): DNAの将来への問題, 蛋白質・核酸・酵素 24: 631-638, 1979.

### ◆ 学会報告

1) 菟原祐喜子, 神吉由紀子, 渡辺典子, 難波恒雄, 御影雅幸: 日本民間薬の生薬学的研究(第13報) 登呂根について, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

2) 難波恒雄, 藁 基煥: タケ・ササ類の生薬学的研究(第6報), Sasa (クマザサ) 属, Sasaella (アズマザサ) 属の葉の内部形態と日本市場品「クマザサ」について, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

3) 難波恒雄, 御影雅幸, 小松かつ子, 鳴橋直弘: 覆盆子の生薬学的研究(第2報), かくおよび花梗の内部形態について, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

4) 難波恒雄, 稲垣建二: 昆虫和漢薬の生薬学的研究(IV), 蜻蛉について, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

5) 難波恒雄, 服部征雄, 御影雅幸, 布目慎勇, 荒木郁子: 陳皮, 枳実その他ミカン類生薬の研究(第1報), 果皮の成長に伴う内部形態および精油含量の変化, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

6) 難波恒雄, 御影雅幸: 生薬の品質評価に関する基礎研究(第13報), 電子顕微鏡による生薬分析(2), ベルベリンの定量, 日本薬学会第99年会, 1979.

8, 札幌.

7) 菊池 徹, 門田重利, 柳田一夫, 難波恒雄, 吉崎正雄, 木村正康: 辛夷 (タムシバ) の成分研究 (1), アルカロイド成分について, 日本薬学会北陸支部第49回例会, 1979. 12, 富山.

8) 菊池 徹, 門田重利, 花垣さやか, 末原 久, 難波恒雄: 一點廣 ( *Nervila purpurea* および *Nevila aragoana* ) の成分研究, 日本薬学会北陸支部第49回例会, 1979. 12, 富山.

## 生 物 試 験 部 門

教 授	渡 辺 和 夫
助 教 授	渡 辺 裕 司
助 手	後 藤 義 明
文 部 技 官	萩 原 昌 樹

### ◇ 原 著

1) Watanabe H., Ikeda M. and Watanabe K.: Effects of a single and repeated administration of morphine on rotational behaviour model of mice and rats with unilateral lesions of nigro-striatal dopaminergic system. *J. Pharm. Dyn.* 2: 169-176, 1979.

2) Watanabe H. and Watanabe K.: Enhancement of apomorphine-induced rotational behaviour in rats following the combination of 6-hydroxydopamine and electrolytic lesions in the substantia nigra. *Japan. J. Pharmacol.* 29: 93-104, 1979.

3) Watanabe K., Goto Y. and Fujisaki H.: Possible involvement of brain GABA metabolism in the pathogenesis of experimental ulcers in the rat. *Experimental Ulcer* 6: 93-94, 1979.

### ◇ 抄 録

1) 渡辺和夫, 村中幹雄, 後藤義明: マウスの摘出胃の酸分泌測定と薬物作用, *日薬理誌* 75: 44, 1979.

2) 渡辺裕司, 渡辺和夫, 池田茂美子: マウスおよびラットの黒質・線条体ドパミン系に対するモルヒネの作用, *日薬理誌*, 75: 48p, 1979.

3) Goto Y. and Watanabe K.: Influence of changes in brain GABA metabolism on experimental ulceration and gastric acid secretion in the rat. *Japan. J. Pharmacol.* 29: 90p, 1979.

### ◇ 学会発表

1) 池田茂美子, 渡辺裕司, 渡辺和夫, 菊池 徹: Tetrahydroisoquinoline 誘導体ならびに辛夷成分のマウス行動に対する影響ならびに蛍光組織化学的研究,

日本薬学会北陸支部第49回例会, 1979. 12, 富山.

2) 渡辺裕司, 渡辺和夫: 骨格筋緊張の中枢ドパミン作動性調節機構と和漢薬作用, 第13回和漢薬シンポジウム, 1979. 9, 福岡.

3) 渡辺和夫: 漢薬厚朴の薬理, 近代漢方セミナー, 1979. 11, 京都.

4) 村中幹雄, 渡辺和夫: マウスにおけるシステアミン誘発十二指腸潰瘍の特性と中枢作用薬の効果, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

5) 渡辺和夫, 前田昌樹: マウスにおける修復期焼灼潰瘍に対するセロトニンの増悪作用, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

6) 後藤義明, 渡辺和夫: 水浸拘束ストレス潰瘍の発生に及ぼすGABAとドパミンのアゴニスト・アンタゴニストの作用, 第7回実験潰瘍懇話会, 1979. 12, 東京.

7) 萩原昌樹, 渡辺和夫: 潰瘍修復過程に対するセロトニンの影響, 第7回実験潰瘍懇話会, 1979. 12, 東京.

8) 後藤義明, 渡辺和夫: 迷走神経刺激によるラットの胃酸分泌に対するH<sub>2</sub>-アンタゴニスト, シメチジンの抑制効果, 第30回薬理学会北部会, 1979. 9, 仙台.

9) 後藤義明, 渡辺和夫: 数種の実験潰瘍および胃液分泌に及ぼすアミノオキシ酢酸, セミカルバジドその他のGABA関連化合物の影響, 第52回日本薬理学会総会, 1979. 3, 東京.

10) 渡辺裕司, 渡辺和夫, 藤田久代: 無麻酔, 半拘束ラットの筋電図による筋緊張亢進状態の評価, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

11) 池田茂美子, 渡辺裕司, 渡辺和夫: 中枢ドパミン作動性旋回行動モデルに対するXanthine誘導体の作用と反復投与による反応性低下, 日本薬学会第99年会, 1979. 8, 札幌.

## 臨 床 利 用

教 授	大 浦 彦 吉
助 教 授	日 合 奨
助 手	横 澤 隆 子
助 手	長 澤 哲 郎

### ◇ 原 著

1) 長澤哲郎, 渋谷真也, 大浦彦吉: ラット血清成分に及ぼす和漢薬の影響(第2報), *薬学雑誌* 99(1): 71-77, 1979.

2) Yokozawa T., Kitahara N., Okuda S. and Oura